

JRIS

鉄道車両ードレンボールコック

JRIS R 1603 : 2019

(JARI)

令和元年 11 月 27 日 改正

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本鉄道車輛工業会 規格審査会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	岸谷 克己	国土交通省鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学名誉教授
	近藤 圭一郎	早稲田大学理工学術院
	古関 隆章	東京大学大学院
	佐々木 君章	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	菊地 隆寛	東日本旅客鉄道株式会社
	遠藤 康信	東京地下鉄株式会社
	島宗 亮平	株式会社総合車両製作所
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	四方田 圭一	日本製鉄株式会社
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(顧問)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	井田 博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	岩滝 雅人	株式会社日立製作所
(委員)	塚原 克之	川崎重工業株式会社
	長澤 章二	日本車輛製造株式会社
	菅野 直哉	近畿車輛株式会社
	橋爪 進	株式会社総合車両製作所
	新澤 基彦	新潟トランス株式会社
	土井 裕	三菱重工エンジニアリング株式会社
	北林 英朗	株式会社日立製作所
	鶴田 慎一郎	東芝インフラシステムズ株式会社
	若林 良明	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機株式会社
	佐々木 敏夫	東洋電機製造株式会社
	四方田 圭一	日本製鉄株式会社
	高田 勝治	ナブテスコ株式会社
	平本 正幸	日本信号株式会社
	田中 幹男	株式会社京三製作所
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
(事務局)	井田 博敏	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	桑 名 寿	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長 制定 : 平成 25.11.11 改正 : 令和元.11.27

掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ ; URL ; <https://www.tetsushako.or.jp>

発 行 者 : 一般社団法人 日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200)

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についての意見又は質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、通常5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

ページ

1	適用範囲	1
2	引用規格	1
3	用語及び定義	2
4	材料及び構造	2
5	コックの分類	3
5.1	通路径による区分	3
5.2	基本構造	3
5.3	ハンドルの操作方向による区分	3
5.4	ハンドル形状による区分	3
5.5	ハンドルの色による区分	4
5.6	環境温度条件による区分	4
5.7	区分記号	4
6	外観及び寸法	5
7	性能	7
7.1	作動	7
7.2	漏れ	7
7.3	気密	7
7.4	耐圧	7
7.5	振動	7
7.6	耐久	7
7.7	環境温度	7
8	検査・試験の種類及び項目	7
8.1	検査・試験の種類	7
8.2	検査・試験の項目	8
9	検査・試験の方法	8
9.1	形状検査	8
9.2	試験の方法	8
10	製品の呼び方	9
11	表示	9
12	塗装	9
13	包装	9
14	取扱時の注意	9
	附属書 A (規定) コックの取扱時の注意	10
	解 説	11

まえがき

この規格は、JRIS 整備ブレーキ部会において改正すべきとの申出があり、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に基づき、鉄車工規格審査会の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。これによって、JRIS R 1603:2013 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JRIS “R シリーズ” 制定の背景

鉄車工規格（JRIS）は、国際規格との整合化の方針に沿って1995年以降に性能基準化されたJISとともに、鉄道車両業界で必要とされる事項を規格として定めることとして、2003年から制定・登録を行っている。

JRIS “R シリーズ”は、車両部品の標準化を図るとともに汎用性をもつ市販部品の車両部品への活用などを可能にする活動の一環として、従来から製品仕様、設計標準などを規格化してきた旧鉄車工標準（RIS）を今後も利用できるようにするため、2003年から鉄車工規格として制定・登録するとともに、その後の技術の進化に対応するため整備を継続しているものである。また、RISからの継承のもののほか、多くの鉄道事業者及び製造業者が標準的に採用している技術分野についても製品仕様、設計標準などをJRIS “R シリーズ”として規格化している。

なお、RISから移行した“R シリーズ”の規格番号は、前身となるRISの3桁の番号の前に零（0）を加えた4桁の番号とすることとしており、これによって規格の名称と番号との関係についての継続性を保っている。

JRISは、制定の背景や関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成されている。この規格の“R シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“J”及び“W”シリーズがある。

鉄道車両ー drenボールコック

Rolling stockー Drain ball cocks

1 適用範囲

この規格は、鉄道車両の機器に生じる dren を大気に排出するために用いる drenボールコック（以下、コックという。）について規定する。この規格が対象とするコックの通路径は、6 mm 及び 12 mm の 2 種類とする。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0203 管用テーパねじ

JIS B 0205-1 一般用メートルねじー第 1 部：基準山形

JIS B 0209-1 一般用メートルねじー公差ー第 1 部：原則及び基礎データ

JIS B 0251 メートルねじ用限界ゲージ

JIS B 7505-2 アネロイド型圧力計ー第 2 部：取引又は証明用

JIS B 7507 ノギス

JIS E 4001 鉄道車両ー用語

JIS E 4031 鉄道車両用品ー振動及び衝撃試験方法

JIS E 4311 鉄道車両ーブレーキ部品ー試験通則

JIS G 3452 配管用炭素鋼管

JIS G 3459 配管用ステンレス鋼管

JIS G 4303 ステンレス鋼棒

JIS G 5121 ステンレス鋼鋳鋼品

JIS H 3250 銅及び銅合金の棒

JIS H 3300 銅及び銅合金の継目無管

JIS H 5120 銅及び銅合金鋳物

JIS H 8617 ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき

JIS K 7137-1 プラスチックーポリテトラフルオロエチレン（PTFE）素材ー第 1 部：要求及び分類

JRIS E 4307 鉄道車両ー空気タンク

JRIS R 0319 鉄道車両ー空気配管標準

JRIS R 1031 鉄道車両ー薄肉炭素鋼管